

脱炭素経営促進メールマガジン

環境省は RE100 に世界初の Ambassador として参加します(2018年6月15日配信)

環境省は RE100 に世界初の Ambassador として参加することになりましたので、お知らせします。

<http://www.env.go.jp/press/105631.html>

国際イニシアチブ「RE100」は、グローバル企業が遅くとも 2050 年までに再エネ 100%を目指すことなどを宣言することを想定したイニシアチブです。

環境省としては、エネルギーを使う需要側から積極的に再エネを選択する目標を掲げる RE100 の取組は、再エネの導入拡大の有効なアプローチであると認識しており、脱炭素社会の実現に向けた環境省自らの率先行動の一環として、RE100 に賛同しております。

本日、中川大臣が、RE100 の運営団体 The Climate Group RE100 代表 Sam Kimmins 氏と面会し、その旨をお伝えして、環境省としての参画の申込書を手交しました。

RE100 は現在規模の大きな企業のみを対象としていますが、中川大臣から、公的機関が率先する役割も大きいと、環境省も参加できるよう要請しました。これに対して、Sam 代表は、RE100 大使の制度を設け、環境大臣・環境省には、世界初の RE100 大使として参加していただきたいと応じました。

中川大臣は、RE100 に参加されている国内外の企業の皆さんとともに、再エネ拡大に取り組み、また、その経験をしっかりとシェアをして、多くの企業や自治体の参加につなげていくとの決意を表明しました。

今後、環境省の庁舎・施設の電力消費における再エネ比率をどのようにして向上させていくのか具体的な方法を検討し、実行してまいります。RE100 への参画を目指している外務省をはじめ、関係省庁や関係者と連携しつつ、我が国全体で再エネの導入拡大が進むよう、施策に取り組んでまいります。